



ほんものを たべよう

Alter Weekly Order Catalogue

2017.6月3週号

提出日

6/ 6 7 8 9

配達日

6/ 13 14 15 16

翌々週配達日

6/ 20 21 22 23

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

野菜 VEGETABLES

栽培野菜 300種類以上、 まるで植物園

女性パワーで再建。

(株)自然耕房あおき(京都府)

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)



兼頭 みさ子、宮本 貴世、川口 匡美、金久 典子(後列左から)
青木 美恵、廣野 弘子(前列左から)

青木 伸一さんの志を継いで

京都府京丹後市で自然農法に取り組んでいた自然耕房あおきの青木 伸一さんが2015年11月20日に急逝され、あとを奥様の青木 美恵さんが引き継がれました。ありがたいことに、河野 武平オルター顧問(磁性鍋の開発者)が、学術的にも価値の高いこの青木さんの農場を献身的に支えられ、昨年2016年11月21日には青木 美恵、川口 匡美、金久 典子、宮本 貴世、兼頭 みさ子、廣野 弘子の6人の女性を中心に、女性だけのオーガニック農場組織を立ち上げることに成功しました。

オルターカタログ2017年4月4週号にご紹介したように、地元こだわりスーパーのいととめさんには、(株)自然耕房あおきの野菜を使ったお惣菜を開発していただきました。

河野 武平顧問大活躍

河野顧問は昨年1年間の半分以上を自然耕房あおきの農場に詰め、草引き、草刈り、播種、定植などの作業を献身的にこなされ、経営の展望を開かれました。この1年、大雨、大雪の害にも負けず、イノシシ(ジャガイモの周辺にネギを定植すると、イノシシは圃場に入ってくない)、

アライグマ、ネズミ、鹿などの害獣にも負けず、立派な農場のたたずまいを切り拓いていただきました。

多彩な女性パワー

(株)自然耕房あおきに集う女性たちは、オーガニック農業の経験は浅くとも、助産師、保育士、フラワーデザイナー、コミュニティー研究者、フードアドバイザー等の経験を持ち、多彩な人間力と様々な視点を有する女性たちです。共生、調和、持続をテーマに、オーガニック農産物の生産・販売だけでなく、野菜本来の旬や野菜の旨味を最大限に楽しむ食べ方の発信など、豊かなライフスタイルの提案を行っています。

青木 美恵さんと同じ年で子どもが同級ということで、青木さんと家族ぐるみでお付き合いをしていた、いととめの廣野 弘子さんも、(株)自然耕房あおきの監査役に就任されています。

生木チップを活用

故・青木 伸一さんは、農学的にはこれまで畑に入れない方がよいとされてきた木材チップを、畑の片隅に積み上げ、きのこが生えるまでに腐朽化し、堆肥として使うという技術を確立されました。学術的にもたいへん

価値の高い青木さんのこの農業技術を守ることが、河野顧問の思いでもありました。

ビオトープで水生野菜栽培

現在、(株)自然耕房あおきの4.6haの農場には、適地適作を考えた、じつに300種類を超える青果物たちが植えられています。まるで植物園のようなたたずまいです。去年まで圃場の周辺で雑草に被われていた排水路は、今年ビオトープと水生野菜の栽培場に転換しています。以下、河野顧問談。

「3月10日そのビオトープに3つの蛙の卵が大きく浮いている。1つのボールには約100の卵が入っており、4月にはオタマジャクシに孵る大きさである。自噴している水温が高く、少し早い孵化が期待できる。

このビオトープには、クレソン、コゴミ、畑わさび、セリが定植されており、3月末にはくわえと蓮、側面には24種のウレイを定植する予定である。泥鰌や小鮎、メダカ、タナゴも放す予定である」。

種類がたいへん豊富な野菜セット

中止・欠品をせず、種類がたいへん豊富で、年中切れ目なく届く、この青木さんの野菜セットが楽しみです。

自然耕房あおきの 野菜セット ☆☆☆

●品目

ハクサイ、レッドケール、小松菜、ホウレンソウ、レタス、モロヘイヤ、空心菜、青梗菜、春菊、トマト、ズッキーニ、黒ニンジン、大根、ジャガイモ、大浦ゴボウ、里イモ(大野いも)、万願寺唐辛子、京みどり、ネギ、タマネギ、ニンニク、ソラマメ、スナップエンドウ、インゲン、オクラ、キュウリ、ピーマン、賀茂ナス、水ナス、スイートコーン、カボチャ、祇園豆、ソラマメ、大葉、ツルムラサキ、サツマイモ、ウレイ、こごみ、ワサビ、蓮、セリなど 300種を超えます。

●防除

農薬不使用
自家圃場内にあるヨモギ・檜の葉・ドクダミの葉を発酵させ、防除に使用、センダン抽出液

●施肥

京都府生木チップを発酵させ使用、刈草(京都府産)
化学肥料の使用なし